

ル処右既設工事ニ対シ重ネテ抗議ノ要アラハ之カ抗議振御
回訓ヲ請フ

在支公使へ転電シ吉林へ暗送セリ

(6) 吉海鐵道關係

一一〇七 五月八日 在奉天吉田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛

奉海・南滿兩線連絡會議不調ノ狀況ニ関スル

件

機密公第三五五号

(五月十三日接受)

大正十五年五月八日

在奉天

總領事 吉田 茂(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

奉海南滿兩線連絡會議不調ノ狀況ニ関ス

ル件

洮昂、四洮、南滿三線連絡會議不調ノ狀況ニ関シテハ既ニ
本年四月二日付機密公第二三七号並同月六日付機密公第二
五二号拙信ヲ以テ報告申進置キタル処今回滿鉄ハ更ニ奉海

線當業者トノ間ニ連絡輸送ノ協議ヲ開キタルカ協議事項中
連絡貨物積換場所ヲ奉海線奉天駅ニスルコト接続線ノ兩鉄
道管理境界線点ヲ南滿用地西側境界線ヲ以テスルコトナル
支那側主張ニ対シ滿鉄側ハ接続境界点ニ付テハ支那側主張
ヲ容ルルモ貨物積換場所ニ付テハ南行貨物ハ滿鉄奉天駅ニ
於テ北行貨物ハ奉海奉天駅ニ於テ積換スヘシトノ主張ヲ固
持シタル為協商遂ニ不調ニ終リタルカ右不調ニ終リタル經
緯ハ別紙ノ通りナル処滿鉄側トシテハ前記二項目ヲ除ク諸
案カ大体支那側トノ間ニ意見一致シタルヲ以テ近ク次期會
議ヲ開催スルノ意向ヲ有シヲレリ何等御参考迄此段報告申
進ス

本信写送付先 哈爾賓・吉林總領事、長春・齊齊哈爾・

鄭家屯各領事

(欄外記入) 滿鉄部内出身者好シテ斯ル外交交渉ヲ為シ失敗

ヲ重ヌル結果ハ会社ノ威信ヲ失墜スルナキヤヲ恐ル

(別紙)

奉海鐵路開通後ニ於ケル同鐵路ト南滿鐵道トノ連絡運輸施
行ノ必要ナルコトハ夙ニ我社ノ認ムル所ニシテ其ノ時期如
何ニ注意セラレ居タルニ京奉鐵路局山領技師長通報ニ依リ
同鐵路ハ大正十四年七月初旬起工セラレ爾來工程進捗シ其

ノ開通期モ案外早ク旧正月前ト予想セラレタルヲ以テ同年
八月二十五日鐵道部ニ於テ連絡要領ヲ決定シ社長ノ決裁ヲ
經庶務部ニ於テ連絡運輸交渉開始ノコトニ計畫セラレタリ
然ルニ其ノ後奉天ニ於テ佐藤奉天鐵道事務所長及奉海鐵路
局陳技師長ノ間ニ於テ之カ交渉ノ下打合セヲ為サシムルコ
トノ有利ナルヲ認メラレ同年十一月二十一日日本社鐵道部ニ
於テ先般社長決裁トナリタル連絡要領ヲ基礎トシ別ニ協約
事項ヲ協議決定シ佐藤所長ヲシテ直ニ陳技師長ニ対シ下打
合セヲ開始セシムルコトナレリ時恰モ張郭開戰ニ遭遇シ
其ノ期ヲ得ス越エテ大正十五年二月二日佐藤所長ハ奉海鉄
路局ニ陳技師長ヲ訪ヒ將來兩鐵道連絡運輸施行ノ必要ナル
ヲ説キ此ノ際之カ協議開始ヲ申入レタルニ對シ彼ハ直ニ贊
意ヲ表シ寧ロ彼ヨリ進ムテ至急接続線路ノ敷設ヲ希望シ之
ニ對スル打合セヲ為スコトニ同意セリ依テ翌々四日鐵道部
要路ノ参加ヲ得テ別紙連絡協約(c)案ヲ提案シ爾來會ヲ重ヌ
ルコト八回日ヲ經ルコト正ニ七十日ニ及ヒタルモ兩者間ニ
意見ノ一致ヲ見サル点アリ此ノ上會議ヲ繼續スルモ何等妥
協展開ノ模様ナク一時會議ヲ中止スルコトノ却テ將來有利
解決ノ見込アルコトヲ認メタルヲ以テ四月十二日第八回會

議ニ於テ本打合會議ヲ一時中止スルノ已ムナキニ至レリ今
會議ノ模様ヲ略述スレハ左ノ如シ

會議前半ニ於テハ連絡運輸ニ関シ無智ナル彼等ニ必要ナル
智識ヲ与ヘ協議ヲ容易ナラシメ其ノ後半ニ於テ漸ク當方ノ
提案ヲ了解セシムルヲ得提案大体ノ賛成ヲ得タルモ先方ハ
本連絡ヲ以テ自駅付屬ノ土地繁榮ノ具ニ供スルト共ニ其ノ
接続線路カ南滿本線ヲ乘越ユルモノアルヲ利用シ西方東北
大學工場トノ連絡線路敷設ヲ容易ナラシメムトシ前者ニ對
シテハ貨物積卸ノ全部ハ之ヲ奉海奉天駅ニテ施行スヘク計
画シ連絡貨物ノ如キモ同様奉海奉天駅ニテ積換ヲ為サムト
シ後者ニ對シテハ接続線ノ兩鐵道管理境界点ハ之ヲ南滿本
線ヲ西ニ越エタル南滿用地ノ西側境界線ヲ以テセムトセリ
之等二項ハ奉海側ノ重要ナル反對事項ニシテ南滿側トシテ
ハ同意シ難キ不都合ナル要項ナリトス

本反對事項ニ對シ當方ハ連絡運輸上不都合ナル点ヲ指摘シ
極力南滿提案ニ賛成ヲ求メタルモ必セサルヲ以テ妥協案ト
シテ連絡貨物積換ノ点ノミ讓歩シ南行貨物積換ハ南滿奉天
駅ニテ北行ハ奉海奉天站ニテ施行スヘク提案セルニ先方ハ
又反對ニ南行貨物ハ奉海奉天站ニテ北行ハ南滿奉天駅ニテ

積換ノ案ヲ申出テテ譲ラス其ノ説ク所ハ南行貨物ハ北行ニ比シ多量ナレハ其ノ多量ナルモノヲシテ奉海奉天駅ニ於テ積換セシメ付屬地ノ殷盛ヲ計ラムトスト謂フニアルモ其ノ真意ハ今後ニ於テ南滿奉天駅カ連絡駅トシテ取扱ハルル際ニ於テハ南行特産物ハ或ハ悉ク南滿奉天駅ニテ取卸サレ奉海奉天站ニ於テ取卸サルルモノナキニ至ルヲ恐ルルモノニアラスヤト思ハル

之ニ対シテモ亦連絡貨物ノ積換ハ市街ノ繁榮ニ対シ何等影響ナキヲ説キ極力了解ヲ求メタルモ遂ニ応スルニ至ラス由テ接続線ノ境界点問題ニ対シテハ当方讓歩ノ余地アルヲ以テ貨物積換場所問題ト共ニ互讓ノ形トシ貨物積換場所ニ対シテハ当方ノ主張ヲ貫徹セシメ接続線境界点ニ対シテハ先方ノ希望ニ沿フ様考慮ヲ為スコトトシ本協議解決ヲ決心シ更ニ會議ニ臨ミタルモ先方委員ハ陳技師長以下無力ニテ何等委任權限ナク細大悉ク王總理ノ指示ニヨリ言論シツツアルモノニシテ連續會議ノ模様ニヨリ察スルニ陳技師長等ハ每會會議ノ模様ニヨリ王總理ヲ動カス等ノコトナク單ニ王氏ノ命スル所ニヨリ會議ニ於テ言ヲ左右シ徒ニ時日ヲ經過セシムルノミニテ誠意ヲ示ササルヲ以テ本會議ハ一時之ヲ

リ

(二)吉林農工商務各會ハ連名ヲ以テ目下開會中ノ省議會ニ対シ本線敷設ニ対スル請願書ヲ提出シ(一)本線ノ交通上經濟上頗ル有益ナルコト(二)吉林省内ノ鐵道中東支、南滿兩鐵道ハ外人ノ手ニ在リ吉長、吉敦ハ外資ニ依リ一モ完全ナル支那人自身ノ鐵道ナキコト(三)中央ノ政情ハ困難ニシテ到底信賴スルニ足ラス本線開設ハ吉林省自ラ之ヲ実行ノ要アルコト等ヲ建議シタルカ省議會ハ右建議案ヲ可決採納シタル上省政府ニ提出シ省政府ニ於テハ右ニ基キ是カ促進ヲ計ルコトトナリ不取敢籌備処ヲ設ケ客年二十八日森林局長李銘書ヲ總弁ニ省議會長齊耀堂及督弁公署參謀艾廼芳ヲ幫弁ニ任命セリ

(三)滿鉄囑託峰畑カ省議會側ヨリ聞込ミタル所ニ依レハ本鐵道ニハ張督弁及熙參謀長共ニ非常ニ熱心ニテ曩ニ省議會ノ齊議長劉、韓ノ兩副議長カ揃ツテ督弁ニ面會シ長伯線ノ促進ヲ進言シタル際督弁ハ長伯モ必要ナルモ省トシテハ先ツ以テ吉海ヲ敷設スルノ要アリト述ヘタル趣ナルカ前記各會ノ請願書モ実ハ督弁側ヨリ商務會ニ旨ヲ含メ各會ヲ纏メテ提出セシメタルモノニシテ一面本線敷設カ省

中止シ王總理等ノ反省ヲ促シ他日ノ有利ナル解決ヲ期スルノ外ナキヲ知り遂ニ本打合會議ヲ中止セルモノナリ
編註 別添連絡協約(C)案ハ見當ラズ

一一〇八 十一月四日(着) 在吉林川越總領事ヨリ 幣原外務大臣宛(電報)

吉海鐵道敷設計画ニ關スル吉林省政府部内ノ

情報ニツキ報告ノ件

第二四号

奉海鐵道ノ工事進捗ニ伴ヒ支那側ニ於テ海龍、吉林間(約百哩)鐵道ノ計画セラルヘキハ客年九月五日付亞一機密第七〇号拙信ヲ以テ申進メ置キタル処最近吉林省政府部内ニ於テ本件ニ關スル協議漸次進行シツツアルモノノ如ク今日迄ノ情報要領左ノ通り

(一)機關紙吉長日報ハ最近二回ニ亘リ社説欄ニ於テ本鐵道ノ速成ノ必要ヲ論シ本線ハ滿鉄ニ対シ最モ近キ所ニテモ百支里以上モ距テ居リ平行線ト云ヒ得サルノミナラス奉海線ニ対シテ日本側ヨリ何等異議出テサリシ位ナレハ本線ニ付テモ無論問題ヲ生スルコトナカルヘシト述ヘ本線ニ對シテハ外資輸入ハ之ヲ絶對ニ排斥スヘシト力説シ居レ

民全体ノ輿論ナルコトヲ示スト同時ニ他面資金調達ニ便セントノ底意ナラントノコトナリ

(四)熙參謀長(省長王樹翰退職後ハ軍事、行政兩方面ノ實權ヲ握リ居ル男)ハ林顧問ニ對シ奉海線ハ來年十月迄ニ全通ノ見込ニ付吉海線モ急クノ要アリ既ニ三週間前線路調査員ヲ派遣シタリト語リタル趣ナリ

(五)吉原滿鉄公所長カ財政庁長ヨリ聞込ミタル所ニ依レハ吉海線ノ資金ハ吉林官民ノ投資トシ省政府ハ歲入金一千八百萬元中歲出一千三、四百萬元ヲ差引キタル殘額四、五百万元ヲ毎年年同鐵道ニ振當テ省民側ノ出資ハ租稅ニ割當テ賦課スルコトニ内定セリトノコトナリ(但シ省財政ニ右ノ如キ余裕アリヤ否ヤハ頗ル疑問ト思ハル)

(六)之ヲ要スルニ吉海線敷設熱ノ昨今頓ニ其ノ度ヲ高メ來リタルハ事實ナリ固ヨリ資金等ノ關係上仲々急ニハ工事ヲ進ムル迄ニ入ラサルヘキモ慢慢的ナカラ結局ハ出來ルモノト見サルヘカラス元來当地支那側ハ本線カ所謂滿蒙四鐵道ノ一タルコトハ之ヲ承知シ居ルヘキモ我方ニ於テ借款敷設權迄獲取シ居ルコト確ニハ承知シ居ラサルヤニ認メラルル処本線計画ニ對シ我方ニ於テ如何ナル態度ヲ執

ルヘキヤハ相当重大ナル問題ニシテ吉林、奉天連絡線完成後ニ於テ滿鉄ノ蒙ムルヘキ影響及吉敦線トノ關係等ニ慎重考量ヲ加ヘタル上決定スヘキモノト思考ス滿鉄幹部ニ於テモ昨今遽ニ是カ対策考究中ノ趣ナリ

北京、奉天、長春ニ暗送セリ

一一〇九 十一月九日 在奉天吉田総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

吉海鐵道敷設計画ニ対スル張作霖ヘノ抗議ニ

關シ請訓ノ件

第三四三号

吉林総領事發貴大臣宛電報第二四号ニ關シ(吉海鐵道敷設計画ニ關スル件)

本籌備処總弁其他任命方十月末吉林省報ニ發表セラレ該計画ハ既ニ事實ナルヘキ処右ハ西原借款ニ依ル我方借款権ヲ無視スルモノナルニ付不取敢之ヲ理由トシテ張作霖ニ対シ抗議シテハ如何カト存セラル何分ノ儀御回電ヲ請フ
北京、吉林ヘ転電セリ

一一一〇 十一月十二日 幣原外務大臣ヨリ
在奉天吉田総領事宛(電報)

当リ条約違反ニ依リ我方ノ利益ヲ害スルカ如キ計画ヲ進メントスルハ当方ノ諒解ニ苦ム所ナル旨ヲ併セ申入レ結果回電アリ度

本電訓令トシテ吉林ニ転電アレ

北京ニ転電アリ度

一一一一 十一月十六日 在奉天吉田総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

吉海鐵道計画ニ關シ中国側ニ抗議ノ結果報告

ノ件

第三四八号

貴電第一七三号ニ關シ

御來訓ノ趣旨ヲ以テ去ル十四日省長ニ抗議ノ意ヲ述ヘタル処自分ニ於テ充分承知セサルニ付吉林当局ニ付取調ノ上回答致スヘシト述ヘタルヲ以テ本官ハ張作相モ目下当地ニ滞在中ナル趣ナルモ折カラ錦州ニ在リテ面会スルヲ得サルニ付貴官ヨリ伝達ヲ請フト申置キタリ昨十五日楊宇霆会談ノ節右同様抗議ノ意ヲ述ヘタル処楊ハ其ノ計画ノ事實ハ知ラサルモ奉海線ヲ奉天省ニ於テ敷設ニ着手シ居ル今日吉林省カ海吉線計画ヲ立ツルハ自然ノ勢ナルカ外資ニ依ラスシテ

吉海鐵道計画ハ条約違反ニツキ中国側ニ嚴重

抗議方訓令ノ件

第一七三号(至急)

貴電第三四三号ニ關シ

大正七年滿蒙四鐵道ニ關スル公文交換ニ依リ我方ニ於テ借款布設権ヲ有スル吉林、海龍、開原間鐵道中海龍、開原間ハ大正十三年九月滿鉄奉天当局間ノ了解ニヨリ支那側ノ奉海線布設ヲ条件トシテ我方ニ於テ之カ布設ヲ放棄シ同時ニ右兩鐵道ニ付日本以外ノ外貨ヲ入レサルコトヲ協定シタルカ元來我方ニ於テ前記借款権ヲ獲得シタル所以ハ明治三十八年北京會議中日支間諒解事項南滿鐵道併行線防止ノ趣旨ニ依リ滿鉄ニ併行スヘキ吉林開原間鐵道ハ之ヲ我方ノ手ニテ布設シ度意向ニ基クモノニシテ前記開原海龍間權利ノ放棄ハ何等吉林海龍間ノ既得権ニ影響ヲ及ササルモノナルノミナラス我方トシテハ滿鉄ノ利益擁護上特ニ右權利ヲ重大視シ居ル次第アリ就テハ貴官ハ以上御含ミノ上支那側ノ本件吉林延長線計画ニ対シテハ右我方既得権ヲ援用ノ上嚴重抗議相成ト共ニ最近支那側ニ於テ滿蒙鐵道問題ニ關スル日支間既存ノ諸条約取極等ヲ未タ実行セサルモノ頗ル多キニ

實施ノ力アリヤ疑ハサルヲ得ス兎ニ角吉林人ハ言論ニ走リテ実行ニ疎キ弊アリ事實奉天省程ノ財政ノ余裕ナキニ鐵道敷設ハ出來サル可シ云々ト云ヘリ本件抗議書ハ昨十五日付ニテ張作霖宛送付セリ(滿鉄ヘ転電セリ)
公使、吉林ヘ転電セリ

一一一二 十一月十七日 在奉天蜂谷総領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛

吉海鐵道計画ニ關スル張作霖宛抗議文ヲ送付

ノ件

付屬書 十一月十五日付在奉天吉田総領事ヨリ張作霖宛

公文第七四八号写

右抗議ノ件

機密公第八六一号 (十一月二十四日接受)

大正十五年十一月十七日

在奉天

總領事代理 領事 蜂谷 輝雄(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

吉海線敷設ニ關スル件

本件ニ関シテハ貴電第一七三號御訓令ノ趣旨ニ依リ去ル十四日莫省長往訪ノ砌抗議シ置タル次第ハ往電第三四八號ノ通りナルカ更ニ昨十五日付公文ヲ以テ張作霖ニ對シ別紙寫ノ通り抗議書提出シ置タリ

右報告ス

本信寫送付先 在支公使

(付屬書)

十一月十五日付在奉天吉田總領事ヨリ張作霖宛公文第七四八號寫

吉海鐵道計畫ニ関シ抗議ノ件

公文第七四八號寫

大正十五年十一月十五日

駐奉日本帝國總領事 吉田 茂

鎮威上將軍 張 作 霖 殿

拜啓陳者吉林省官憲ハ吉林海龍間鐵道敷設ヲ計畫シ去十月二十六日吉林公報ヲ以テ同鐵道敷設籌備処總弁其他ノ任命ヲ發表セル趣ノ処本件鐵道敷設ニ付テハ大正七年滿蒙四鐵道借款ニ関スル貴我交換公文ニ依リ明カニ我方ニ於テ借款敷設權ヲ有シ且ツ之カ為既ニ貴國政府ニ前貸金ヲモ交付致シタル次第ハ夙ニ御承知ノ通ニ有之右ハ又明治三十八年北

京會議中南滿鐵道並行線ヲ敷設セサルヘキ貴我兩國間ノ了解事項ノ趣旨ニ基クモノニシテ本件鐵道ハ滿鉄ノ利益擁護上我方ニ於テ特ニ重大視シ居ル所滿蒙諸鐵道問題ニ関スル貴我兩國間ノ既得條約取極中未タ実行ニ着手セラレサルモノ頗ル多キニ當リ貴方ニ於テ更ニ前記條約取極ヲ無視シ特ニ我方ニ於テ重大視スル鐵道計畫ヲ進メラルルカ如キコトアリトセハ甚タ当方ノ了解ニ苦シム所ニシテ且ツ最モ遺憾ニ堪ヘサル次第ナリ就テハ前記計畫ノ有無至急御調査ノ上其事実アリトセハ前記ノ次第ヲ以テ篤ト御諭達ノ上本件計畫中止方御手配相煩度此段帝國政府ノ命ニ依リ照會得貴意候

敬具

一一一三 十一月十八日(着)

在吉林川越總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

吉海鐵道計畫ニ関シ吉林省當局ニ對シ抗議シ

タル結果報告ノ件

第二八號

奉天宛貴電第一七三號ニ関シ(吉海鐵道問題)

張作相目下出奉不在中ナルニ付本十七日政務庁長(省長事務ヲ代行ス)ニ對シ貴電御來示ノ趣旨ニ依リ抗議ノ意ヲ述

話報告ノ件

第二九號

往電第二八號ニ関シ

吉海鐵道ニ関スル對支抗議文寫シ十九日奉天ヨリ接到右ニ倣ヒ本官ヨリモ十九日付ヲ以テ張作相宛抗議書ヲ送付シ置キタリ

本件我方ヨリノ抗議ニ對スル支那側内部ノ意向内偵方吉原ニ依頼シ置キタル処教育庁長劉樹春(本年九月迄省議會副議長ヲ勤メ滿鉄トハ種々關係アル人物)二十一日吉原ヲ來訪シ日本側抗議ニ對スル吉林側ノ意向ハ去ル十七日政務庁長カ總領事ニ答ヘタル通りニテ支那自身ノ資本ニテ支那国内ニ鐵道ヲ敷設スルニ何ノ差支ヘアリヤト言フニ在ルヲ以テ日本側トシテハ寧ロ此際本鐵道敷設ニ賛成サルル方兩國ノ面目上將又感情上將來ノ為好都合ナルヘシト語リタルニ付吉原ハ國際間ノ取極ハ貴方ニテ解釈セラルルカ如ク爾ク簡單ナルモノニアラス本問題ノ善後処置トシテハ支那側ニ於テモ宜シク日本側ノ立場ト面目トヲ考慮シ万事日本側ト相談サルル事ニシテハ如何ト述ヘタル処劉ハ其意ヲ諒シ政務庁長及ヒ各要路者トモ相談ノ上貴意ニ副フ様努力スヘシ

一一一四 十一月二十二日(着)

在吉林川越總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

吉海鐵道問題ニ関スル我方ノ抗議ニ對スル

吉林省側ノ意向ニツイテ教育庁長劉樹春ノ内

ト答ヘタル趣ナルカ尙其際劉ハ本件解決ハ奉天ニテ張作霖ヲ動かス事最モ早道ナルヘキモ吉林省ニ於ケル鐵道問題ノ為メ作霖ノ私囊ヲ肥ヤスカ如キ事ハ吉林人ノ最不快トスル処ナルニ依リ自分ハ日本側カ此策ニ出テサル事ヲ希望スト付言シタル由ナリ

右滿鉄ヘハ吉原ヨリ電報スミ
北京、奉天ヘ転電セリ

一一一五 十一月二十九日 在吉林川越總領事ヨリ
幣原外務大臣宛

吉海鐵道問題ニ關スル我方ノ抗議ニ對スル

吉林鍾交渉員ノ内話報告ノ件

付屬書 十一月二十八日付在長春和登良吉ヨリ在吉林川

越總領事宛書簡

吉海鐵路交渉事件ニ關シ鍾交渉員赴奉打合セノ

件

機密公第三〇四号 (十二月七日接受)

大正十五年十一月二十九日

在吉林

總領事 川越 茂 (印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

盛京將軍增祺氏ノ文案(秘書)タリシ當時小生ト親交アリ今日迄二十二年間黑龍江省吉林省ニ於テ相共ニ在住セル關係上連續の交誼ヲ持續シ常ニ親密ナル往來ヲ致シ居候「今回同氏ノ赴奉ニ關シ個人的ニ深く相談致シタル点モ有之候得共要ハ吉海鐵道建設ニ關シ日本政府ヨリ受ケタル抗議ニ對スル處理ヲ如何ニ決ス可キ哉重大ナル問題トシテ奉天莫省長及交通委員會トモ打合せノ為ニ出奉スルモノニシテ目下張作霖モ張作相モ共ニ不在ナルモ大体ノ方針ヲ打合セスル者ト被存候

一、日本政府ノ抗議ニ對シテハ吉林省トシテ吉海鐵道布設權利ヲ日本ニ讓渡シタルノ條約ハ未タ公布サレタル事實ナク秘密條約ニシテ中央政府ヨリハ何等ノ通告モナシ之レヲ承認スルカ否ハ非常ニ重大ナル關係ヲ生スル者ニ付慎重ナル顧慮ヲ要スル事

二、他國ノ力ヲ藉ラス自力ヲ以テ自省内ニ布設スル鐵道ニ關シ外國ヨリ抗議ヲ受クル理由ナシ

以上日本ノ抗議ニ對シ吉林省官民ノ大体意見トシテ一致セルモノナルモ非公公式ニ之レヲ見ル時ハ滿鉄カ奉天ニテ洮昂線ノ契約ヲナセル當時ニ奉海鐵道ヲ支那單獨ニ布設セル事

吉海鐵道問題ニ對スル吉林交渉員
ノ内話報告ノ件

本件ニ關シ在長春和登良吉ヨリ別紙写ノ通内報アリタルニ付御參考ノ為右茲ニ送付ス御査閱相成タシ

写送付先 北京、奉天

(付屬書)

十一月二十八日在長春和登良吉ヨリ在吉林川越總領事宛
書簡写

吉海鐵道交渉事件ニ關シ鍾交渉員赴奉打合ノ件

大正十五年十一月二十八日

和登 良吉

吉林帝國總領事

川越 茂殿

吉海鐵路交渉事件ニ關シ鍾交渉員

赴奉打合セノ件

拝啓昨日吉林交渉署長鍾毓氏ト吉林自來水公司總理周斗欽ノ両氏來長致シ周氏ハ今回吉林ニ布設スル水道ノ調査ヲスル為当地及大連、青島、天津、營口地方ヲ視察ノ途上ニシテ交渉員鍾氏ハ吉海鐵道ニ關シ日本ヨリノ抗議ニ對シ奉天省ト打合ノ為出奉スル途中下車セラレシ者ニテ「鍾氏ハ元

ニ同意シタルハ海龍ヨリ吉林ニ延長スル事ハ勿論含マレ居ル者ニテ奉吉貫通鐵道ハ当然ノ帰結ナリト主張スルモノニテ若シ日本ノ抗議ヲ受ケテ本鐵道ノ計画ヲ中止スル如キ事ハ省議會及各団体カ一致シテ反對スル事ト思ワレルヲ以テ非常ナル惡影響ヲ來シ或ハ通商上ニモ惡結果ヲ來ス事ヲ杞憂スル者ニテ目下吉林ハ吉敦鐵道モ起工サレ日支人間ハ好感ヲ以テ万事円満ニ折衝サレ居ル時期故本問題ニ關シテハ充分ノ注意ヲ以テ善後策ヲ講究スルノ要アリト申居候猶南滿線及吉長線カ吉奉貫通ニ由リ收入ノ影響ヲ受クル為ニ其ノ支線或ハ培養線ヲ延長スルト云フ事ニ就テノ交渉余地ハ充分有ル者ト思ワル之レ等ハ交渉署長トシテノ權限外ニ屬スル問題故自己ノ意見ハ發表シ難キモ相当ノ余地アルモノト思ワレルト申居候何レ三四日間滯奉ノ上帰途又立寄ラルル事ト存シ候ニ付其上更ニ模様判明スレハ御報告可申上候得共不取敢右御參考ニ供シ度如斯御座候 拝具

一一一六 十一月三十日 在吉林川越總領事ヨリ
幣原外務大臣宛

吉海鐵道ニツキ我方抗議ノ対応策ニ關スル
吉林省議會秘密會議ニツイテノ滿鉄情報送付

ノ件

機密公第三〇六号

(十二月九日接受)

大正十五年十一月三十日

在吉林

總領事 川越 茂(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

吉海鐵道ニ関スル情報写送付ノ件

吉海鐵道ニ関スル吉原吉林滿鉄公所長發滿鉄本社宛情報写別紙ノ通送付ス

写送付先 北京 奉天

(別紙)

吉林公所長發庶務部長宛大正十五年

十一月三十日付吉公報第七〇号写

本月二十七日午前十時吉林省議會ハ農、工、商、教四団体ノ領袖ヲ集メテ秘密會議ヲ開キ吉海鐵道問題ニ関スル日本側抗議ノ対応策ヲ討議シタルカ其經過ニ付テ仄聞スル所ニヨレハ此ノ際政府ヲ鞭撻援助セサル時ハ支那側ノ失敗ヲ招ク恐レアルカ故ニ適當ノ方法ヲ講シ以テ交渉ヲ有利ニ導ク

必要アリ其第一步トシテ代表者ヲ在天津ノ張作霖ノ下ニ派シ嚴重交渉方ヲ要求スヘク本鐵道ハ絶対ニ人民ノ投資ニ依リテ國權ヲ失墜セシムヘカラスト云フニ在リ尚具体的方法ニ関シテハ本三十日再ヒ秘密會議ヲ開キ商議スヘク決定午後三時解散セリト云フ

一一一七 十二月一日(着)

在吉林川越總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

吉海鐵道問題ニ関スル吉長中川代表ト魏武英

トノ会谈ニツキ報告ノ件

第三〇号

吉海鐵道問題ニ関シ昨三十日吉長中川代表ヨリ左ノ通り通報アリタリ

(欄外記入)
二十九日魏武英ハ中川ニ対シ本日張作霖ト面会(張ハ二十九日長春通過奉天ヨリ吉林ニ帰レリ)シタルニ吉海線ニ対スル日本側ノ抗議ニ就キ頗ル心配シ居タルカ自分ノ考ニテ

ハ之ヲ解決案トシテ長大線ヲ吉敦同様ノ条件ニテ交換的ニ建設スルコトシテハ如何ト切出シタルニ付中川ハ右ハ全然問題トナラス何トナレハ長大ハ日本既得權ノ一ニシテ昨年松岡理事張作霖間ノ約束モアリ滿鉄ニ於テハ一兩年内ニ

当然考慮サルヘキモノト信シ居レリ從テ之ヲ以テ吉海線ト交換問題ト為スカ如キ申出ヲ為スモ其効ナカルヘシ元來支那側ハ長大ハ滿鉄ノ極メテ熱望シ居ル線ナリト考ヘ居ルカ如キモ滿鉄ニトリテ同線ノ利益ハ唯東支線トノ協定ヲ比較的有利ニ解決セシムル点ニ在ルノミニテ該地方ハ既ニ大体開墾シ尽サレ其貨物ハ現在ニ於テモ馬車又ハ東支南線ニテ滿鉄ニ來リ居ルカ故ニ同線開設セラルルモ貨物ノ著シキ増加ヲ見ルカ如キコトナケレハナリト答ヘタル処魏ハ長大トノ交換不可能ナルコトハ好ク諒承セリ右ハ唯自分トシテ鳥渡頭ニ浮ヒタル迄ト承知セラレタシ(中川曰ク魏ノ口吻ヨリ推シテ右ハ張作霖ト相談シタルカ或ハ魏ヨリ進言シタルモノト想像セラル)然ルニ吉海線敷設ノコトハ吉林政府ニ於テ既ニ發表セル次第モアリ今更之ヲ取消スコトハ対内閣係上極メテ困難ナル事情アリ何トカ解決方法ナキヤト尋ネタルニ付中川ハ日本ノ抗議モ絶対ニ敷設セシメスト云フニ

アラサルヘク相当ノ条件ニテ折合フコトハ不可能ニアラスト考ヘラル例ヘハ吉敦線延長ノ如キ滿鉄トシテハ希望セサルモ日本政府トシテハ多少考慮ノ余地アルコトト思フト答ヘタルニ魏ハ吉敦線ヲ延長シテ國境ニテ接続スルト云フコ

トハ目下ノ空氣ニテハ甚タ困難ト思フ猶奉天側ニ於テハ吉

海鐵道ハ吉林ノ問題ナリトシテ交渉ニ応スルコトヲ避クヘク從テ主トシテ吉林ニテ交渉サルルコトナルヘク旁々解決一層困難ナルヘシ交換問題等モ右交渉カ最高潮ニ達シタル場合何レヨリカ提出サルヘキモノニテ今自分等ノ飛出スハ時機尚早ナリト思ハル貴見如何ト述ヘタルニ付中川ハ然リ今少シク問題ノ推移ヲ見ル方賢明ナラムト答ヘ置キタリ猶最後ニ魏ハ奉天側ハ目下財政非常ニ窮乏ノ折柄ニ付長大線ヲ持出スニ適當ノ時機ト思考スルモ吉海トノ關係モアレハ之ヲ持出スコトモ考慮ヲ要スヘシト語リタル趣ナリ

北京、奉天、長春ヘ暗送セリ

(欄外記入) 中川代表ノ談ハ不謹慎ナリ

一一一八 十二月一日

在長春栗原領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

吉海鐵道問題ニツイテノ我が方抗議ニ対スル

鐘吉林交渉員及ビ張作霖等ノ態度ニ関スル情

報報告ノ件

付記 十二月一日付鎌田滿鉄奉天公所長ヨリ滿鉄本社

庶務部長宛

莫省長等吉林省政府要人ノ吉海鐵道問題ニ関スル善後策ノ協議ニツイテ報告ノ件

第四一號

吉海鐵道ニ對スル我方抗議ニ關シ善後策打合せノ為吉林鍾交涉員二十七日当地經由奉天ニ向ヒタルカ其ノ節和登ニ對シ日本側ノ抗議ハ吉林官民ニ多大ノ衝動ヲ与ヘタルモ官民多數ノ意見ハ大体(一)本鐵道敷設ニ關スル協定ハ秘密條約ニシテ中央政府ヨリ何等通告ニ接シ居ラサルニ付吉林省トシテハ必スシモ之ニ拘束セラルヘキモノニ非ス(二)自力ヲ以テ自省内ニ敷設スル鐵道ニ對シ外國ヨリ抗議ヲ受クル理由無シ(三)洮昂線敷設ニ關連シ既ニ日本側ヨリ奉海線建設ニ同意ヲ得居ル以上海龍以北ヘノ延長即チ奉吉線ノ完成ハ之カ当然ノ帰結ナリト云フニアリテ非常ニ意氣込ミ居ルニ付万一中止ノ已ム無キニ至ルカ如キ事有ラハ省議會各團體一致ノ反對トナリテ日支人ノ關係ニモ惡影響ヲ及ホスヘク事態重大ナリ尤日本側ニ於テ仮ニ本鐵道ニ依ル影響ヲ緩和センカ為右ト交換ニ南滿線ノ支線乃至培養線敷設ノ希望モ有ラハ充分交渉ノ余地アルヘシトノ意ヲ漏シタル趣ナリ

尚張作相ハ二十九日当地經由帰吉シタルカ其節聞込ミタル情報トシテ景外交科長ノ内話スル処ニ抛レハ張作相ハ日本

(付記)

十二月一日付鎌田滿鉄奉天公所長ヨリ滿鉄本社庶務部長宛
莫省長等吉林省政府要人ノ吉海鐵道問題ニ關スル善後策ノ協議ニツイテ報告ノ件

奉天情報第一一〇號

(十二月七日外務省接受)

大正十五年十二月一日

奉天公所長 鎌田 彌助

庶務部長殿

写送付先 大蔵理事 支社長 文書課長 調査課長
哈爾賓事務所長 各公所長 奉天 長春
鐵嶺 開原地方事務所長

吉海鐵道問題ニ關シ協議ノ件

(警察情報)

吉海鐵道問題ニ就テハ既ニ報道セラルル如ク奉天及吉林總領事ヨリ條約ヲ無視スルモノトシテ嚴重抗議中ナルカ今回莫省長ハ張作霖ヨリ吉海鐵道問題ニ關シ日本側如何ニ抗議ヲ申込ムトモ敢然之ヲ決行シ決シテ鐵路權ヲ放棄スヘカラス云々ノ電ニ接シタルヲ以テ去ル二十八日午後三時張作相、臧式毅、高平和、吉林交涉署長鍾毓、王鏡寰等ノ諸要人ヲ私邸ニ招致シ之カ善後策ヲ協議シタルカ張作相ハ席上

側力独ノ吉海線ニ對シ強硬ナル抗議ヲ為スハ遺憾ニシテ自分ニ對スル侮辱ナリト述ヘ頗ル不機嫌ニ見受ケラレタルカ元來本鐵道ハ張作相ヨリ奉天側ニ發議シ同意ヲ得タルモノニシテ當時張作霖ヨリ之カ建設ニハ日本ノ抗議ヲ覺悟セサルヘカラサルモ斯ノ如キ場合ハ作霖自身日本側ト折衝スヘシトノ注意アリテ之ヲ引受ケタル行懸モ有リ旁々今回ノ抗議ニ對シテモ張作霖ヨリ作霖自身ニ於テ処理スヘキ旨申渡サレタル由ニテ本件ノ解決如何ハ張督弁一身ノ責任タルニ留マラス奉天側ニ對スル面子問題トナリタル感有リ他面吉林官民ノ意向前記ノ通ナルニ付張トシテモ勢強硬ナル態度ニ出スル外無ク内心ハ兎ニ角差当リ行ク処迄日本側ト交渉スル考ナルカ如シ云々

尚又同日魏武英ヨリ吉長代表中川ニ對シ支那側ニ於テ長大線ノ敷設ヲ認ムルニ於テハ日本ハ吉海線ニ同意スル意アリヤト尋ネタルニ付中川ハ長大線ハ既得ノ權利ニシテ之ト交換セントスルカ如キ固ヨリ問題ニ非スト述ヘ強ク一蹴シ置キタル趣ナルカ右ハ或ハ張作霖ノ内意ヲ受ケ日本ノ氣ヲ牽カン魂胆ニ非スヤトモ思考セラル

在支公使 奉天 吉林ヘ転電セリ

ニ於テ「日本側ハ該鐵道ニ對シ滿鉄ノ平行線ナリト抗議ヲナセトモ該鐵道ハ滿鉄線ヲ離レルコト數百里(支那里六丁)ニシテ該鐵道ノ輸送貨物モ亦自ラ其方面ヲ異ニシ何等反對スルノ理由ナキナリ若シ該鐵道ヲ日支合弁トスルカ或ハ該鐵道ヲ担保トシテ日本ヨリ借款スル時ハ彼ハ決シテ抗議セサルヘシ然レトモ該鐵道ハ純然タル民營ニシテ人民ノ出資ニ依リ敷設スルモノニテ彼レ日本ノ毫モ利収ニ与ル事能ハサルヲ以テ羨望ノ余リ嫉視スルモノナリ諸君ハ如何」云々ノ言ヲ為シ列席者皆之ヲ是トシ張作相及鍾署長ハ至急帰任スルコトニ決シタリ

而シテ日本側若シ之ニ干渉シタル時ハ高交涉署長ヨリ婉曲ニ之ニ応對シ有耶無耶ニ葬ルヘシトナシ終リテ莫省長ノ張宴アリテ一同散会セリト

一一一九 十二月一日

在吉林川越總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

滿蒙四鐵道ニ關スル日中交換公文ノ公表手續

照会ノ件

第三一號

(十二月二日接受)

吉海鐵道問題ニ關シ

大正七年ノ滿蒙四鐵道ニ關スル日支交換公文ハ本省条約局編纂「日支間並ニ支那ニ關スル日本及他國間ノ条約」第五百六十四頁ニ依レハ大正八年四月九日公表トアル処右ハ同時ニ支那側ニ於テモ公表ノ手續ヲ取りタルモノナリヤ然リトセハ其ノ日付及公表ノ形式（掲載刊行物等）御回電アリタク尚右交換公文ハ華府會議決議第十、第一項ノ手續完了済ナリヤ併セテ御回示ヲ請フ

在支公使ヘ転電シ奉天ヘ暗送セリ

一二二〇 十二月二日 幣原外務大臣ヨリ
在吉林川越總領事宛（電報）

滿蒙四鐵道ニ關スル日中交換公文ノ公表手續

回答ノ件

第二三三號

貴電第三一號ニ關シ

本件交換公文ハ大正八年四月九日日本省及支那外交部ヨリ同時ニ各新聞ニ対シ公表セルモノナリ（大正八年往電第二五號及同年四月九日付往信第二四號参照）

尚華府決議第十二關シテハ我方ハ目下準備中ナル処今日迄ニ登録ヲ為シタルハ英、米、仏、伊、蘭、葡ノ六ヶ國ナ

ルモ其ノ内英、仏、伊ハ何レモ今後ノ増補訂正ニ付留保ヲ付シ巧ニ条約其ノ他ノ効力問題ニ對スル逃ケ道ヲ作り居ル次第モアリ旁々我方ニ於テモ右登録ニ當リテハ同様ノ留保ヲ付シ置ク意向ナリ

在支公使ヘ転電シ奉天ヘ暗送アリ度

一二二一 十二月二十一日（着） 在吉林川越總領事ヨリ
幣原外務大臣宛（電報）

吉海鐵道問題解決策ニ關スル鍾交涉員トノ会

談報告ノ件

付記 十二月二十七日付吉原滿鐵吉林公所長ヨリ滿鐵

本社庶務部長宛

吉海鐵道敷設中止ニ關シ張作相吉林督弁ヨリ吉

林省長公署ニ達シタル電令ノ件

第三三三號（極秘）

吉海鐵道問題ニ關シ十九日鍾交涉員本官ヲ來訪シ自分ハ（自己）奉天ニ赴キ張督弁、楊宇霆、莫德惠等ト会合本件善後策ヲ相談シタルカ奉天側ハ奉海線中ニハ海龍及其先ノ延長モ当然含マレ居ルニ付吉林省ニテ吉海線ヲ敷設スル事カ不可ナリトノ事ナラハ奉海線ノ延長トシテ奉天側ニテ敷設スル事ニ變更シ對日交渉モ奉天ニテ處理セントノ意向ヲ

有シ居ルモ張督弁トシテハ奉天側ニ對スル行懸上日本側ノ抗議ニ依リ今更之ヲ中止又ハ變更スル事ハ面子ニ關スル次第ニ付何トカ吉林ニテ日本側トノ諒解ヲ付ケ度希望ヲ有シ居レルカ自分（交渉員）ノ考ニテハ元來大正七年ノ交換公文ナルモノハ時ノ督軍多クハ政府ノ手ニテ東三省トハ何等ノ關係無ク取結ハレタルモノニテ前借金ノ如キモ悉ク政爭ニ使ハレタルモノナルニ今吉林省カ省民ノ希望ニ基キ省自負ノ資金ニ依リ鐵道ヲ設ケントスルニ當リ之カ為ニ妨ケラルルト云フ事ハ實ニ迷惑千萬ノ話ニテ今回ノ日本ノ抗議ニ付テモ吉林省トシテハ北京政府トノ約束ナラハ抗議モ北京政府ニ提出セラレタシト撥付ケ構ハス工事ヲ進ムル事モ出來得ル訳ナルモ現在ニ於ケル日本對吉林ノ比較的良好ナル關係ニモ顧ミナルヘク本件ヲ吉林ニテ圓滿ニ片付ケ度ト存スル次第ナルカ何トカ良キ方法無キヤ貴官ノ個人トシテノ意見ヲ承リ度ト述ヘタルニ付本官ハ奉海線延長ニ對スル奉天側見解ノ誤ヲ正シタル上成程本件我方ノ抗議ハ吉林省ニ對シテハ御氣毒ノ至ナルモ苟モ國ト國トノ正式約束アル以上地方トシテ之ニ拘束セラルルハ已ムヲ得サル次第ナルヘシト述ヘ自分（余）ハ本件ニ付テハ公文ニ認メタル趣旨ノ

抗議ヲ貴方ニ提出スヘシトノ政府ノ訓令ヲ受ケタル外今日迄何等訓令ヲ受ケ居ラス從テ日本政府ニ於テ果シテ交換問題等ニ依リ解決スルノ意有リヤ否ヤモ不明ナルモ御希望ト有ラハ日本政府ニ取次ノ役ヲ務メ出來得ル丈諒解ノ成立ニ尽力スル事ヲ辭セサルヘシ緒而本問題ノ解決方法ナルカ自分一己ノ考ヲ有ノ儘ニ開陳スレハ其代案トモ見ルヘキハ開海線ニ對スル洮昂線ニテ該線ハ何等契約關係無キ全然新規ノ鐵道ナルカ抗議公文ニテモ御承知ノ通日本政府ハ鐵道問題ニ關スル日支間既存ノ契約中未タ実行セラレサルモノ多キ事ニ不満足ノ模様ナルニ付今後ハ新規ノ鐵道ヲ持出サストモ吉林省關係ノ既存ノ約束実行ト云フ事ニテ話ヲ付ケル方法モ有之ヘキカト自分丈ハ想像シ居ル次第ナリ即チ端のニ云ヘハ長春洮南間及吉林會寧間ナリト答ヘタル処交渉員ハ吉敦延長ハ將來ハ兎モ角只今ノ処ニテハ到底困難ト思考スト云ヘルニ付本官ハ吉敦カ結局間島方面ニ延ヒ行クヘキハ鐵道自体ノ性質ヨリ見テ必然のナリト云フヘク吉林側トシテハ寧ろ此ノ機會ヲ捕ヘル方得策ニ非スヤ又若シ敦化カラノ延長カ具合悪ケレハ天図鐵道ノ延長ト云フ事モ亦一案ナルヘシト述ヘタル処交渉員ハ御尤ナル意見ナルモ右ハ仲

々六ヶ敷問題ナリ何カ外ニ良キ考案無キヤト答ヘタルニ付本官ハ只今ノ話ハ自限リノ考ヲ立テテ率直ニ開陳シタル次第ナレハ其ノ積ニテ右ニ基キ更ニ御考慮ヲ請フト述ヘタル処交渉員モ之ヲ諒トシテ引取リタリ

惟フニ張作相及其ノ周圍ハ對奉天並對吉林省民ノ關係上出来得レハ彼等ニ都合良キ輕キ条件ニテ我方ノ諒解ヲ取付ケント極メテ虫ノ宜キ考ヲ抱キ居ルモノナルヘク奉天側ノ如ク惡擦シ居ラサル代リニ對外問題ニ付テハ極メテ消極的ニ臆病ナル吉林側ノ事ナレハ之レ以上話ヲ進メ来ル事ハ万之有ルマシト思考セラル本件ハ結局奉天ニ於テ滿鉄ノ手ニテ解決スヘキモノナルヘキカ滿鉄側ノ考ヘ居ル条件ハ

(一)長大線ノ即行

(二)開海借款權ノ復活又ハ現在ノ輕便線ヲ広軌ニ改ムル事

(三)吉海ノ「ルート」ヲ盤石ヨリ樺甸ニ變更スル事

等ニアルカ如シ只茲ニ注意ヲ要スルハ本件カ滿鉄ノ手ニテ奉天ニテ解決セラレントスル場合一ハ前記吉林官憲側ノ体面問題ノ為今一ハ吉林人ハ奉天側カ常ニ鐵道問題ニテ多額ノ賄賂ヲ取り居リ其ノ仲介者ヲ魏武英ト見做シ居ル模様ナレハ此ノ兩者相会シテ又例ノ省議會辺ヲ突キ排日騒ヲ起サ

シメ折角無事ニ進行シツツアル吉敦工事ノ妨害等始マラストモ限ラス此ノ点ハ余程警戒ヲ要スルモノ有リト思考セラるルニ付予テ吉林人ト親交有ル峰畑ヲシテ出来得ル丈之カ予防策ヲ考研セシメツツアリ

右要領吉原ヨリ滿鉄本社ニ報告済
在支公使、奉天、長春ヘ転電セリ

(付記)

十二月二十七日付吉原滿鉄吉林公所長ヨリ滿鉄本社庶務部長宛

吉海鐵道敷設中止ニ関シ張作相吉林督弁ヨリ吉林省長公署ニ達シタル電令ノ件

吉公報第一一七号

(外務省接受月日不明)

昭和元年十二月二十七日

吉林公所長

庶務部長殿

吉海鐵路敷設中止ニ関シ吉林督弁

ノ電令

吉海鐵路敷設ニ関シ吉林督弁張作相ヨリ省長公署ニ達シタル電令ニ拠レハ

第一四四号(極秘)

(四月二十四日接受)

現今戦端未タ息マス軍務緊迫シテ軍需尚整備セス此後ニ於ケル省庫ノ負担モ亦憂慮スヘキモノアリ斯ル時ニ際シ吉海鐵路ノ敷設資金ヲ省民ノ負担ニ属セシムルハ其苦痛輕カラサルニ拠リ同鐵路ノ籌備進行ヲ暫止シ時局平定ヲ俟チテ并理スヘキ様各官庁、諸機關団体等ニ飭令スヘシ
如上ノ電命ヲ接受シタル省長公署ハ吉海鐵路籌備処ニ転飭スルト共ニ商、工、農各界ニモ此旨通達セリト云フ

写送付先 東京支社長、庶、調査課長

各公所長 哈爾濱事務所長

長、開、鉄、奉各地事務所長

吉林總領事 在吉特務機關

(7) 洮索鐵道關係

一一二二 四月二十三日 在奉天吉田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

張作霖ヨリ洮索鐵道敷設借款ニツキ我が国ノ

意向打診ニ関シ報告ノ件

付記

五月五日付外務省覽

洮索鐵道ニ關スル件

(付記)

編註 警告別紙第二見当ラズ

好意的ノ答ヲ為シ置キタリ
ノ処京津ノ政局一段落ト共ニ真面目ニ着手ノ考ヲ抱キ居ルモノノ如キニ付本官ハ前段ノ如ク愈々本件具体条件ヲ持チ来ル場合ニハ警告別紙第二ニ入ルノ端緒ト為スカ又ハ別紙第二ヲ申出ル場合ニ合併論議スル考ニテ一応右ノ如ク最も